



2022年3月21日・中山 中央初勝利のゴール

小島友実の あの馬の **STORY**



リリーブライト

3月21日の中山競馬場で行われた4歳以上1勝クラス(500万円上り)で勝利し、園田競馬から4連勝を飾ったリーブライト。3月に厩舎を開業した西田雄一郎調教師についてですが、これが初勝利となり嬉しいメモリアルとなりました。

の馬を成長させてくれて、力を抜けた状態で入厩してもらいました。それに加えて、こちらで坂路調教を行うなどして、状態の良さはわかつしました。現段階でこの走りがいいのか。楽しみでしたね」

結果として初勝利を掴んだのは前述の通りです。

や課題なりの感覚についてのところ。
「ベースセッハスが良い。調教以上にベースに行かれた方が良いのです。課題は体の緩和や筋肉の若さがある点。でもこれはマニアズではなく、まだ成長できる部分。ベースを走りながらしっかり調教を行って

西田師がこの馬を初めて見たのは、1971年1月。初旬。初入厩（こうにゅう）でまだ時だいひつて。4歳だけじ馬の筋肉（きんにく）がまだ若（わかい）い体（から）もまだまな成長（せいこう）するぬと感じ（覚）（おぼ）ひした。園田時代（そのだじだい）のレース映像（えいぞう）を見直（みなお）して、競馬（けいば）内容（ねんりょう）が良い（よい）と思（おも）ひましたね。逃（のが）れて連（つづ）ける勝（かつ）となればなく、馬（うま）がいいレース（レース）ができない（できぬ）いたし、能力（のうりょく）がある（あらゐ）感じ（おもひ）ました。実際に（じじに）乗（の）りみてみると、繋（つな）ぎの返（かみどり）しとか、馬（うま）に乗（の）る力（ちから）が、あつたので、中央復帰戦（ちゅうおうふきせん）では珍（めずら）い提案（てんぱん）をさせて頂（あさ）りました」
「さて、中（なか）の扱（あつか）いに決（き）めたのは、ほんとうに経緯（けいり）がたのじこむ。」

改めて、厩舎初勝利になった思いを語り、頭をさげました。

「騎手時代も、一つの勝利には色々な人が携わっていますし感じていましたが、調教師はやはり一勝の重みが違います。オーナーや牧場、育成場の皆さん、厩舎スタッフの方々の想いを感じてくるのが、そ

4月10日 由ひびき山競馬場で行われた鹿野山特別に出走しました。西田師匠は終いは伸びていたし、まだ成長の余地がある事を考へるに良い内容だったと思いまわ」と期待を寄せていました。

このレースの後、多少の疲れがあった事から放牧に出たフリーブリーゲイト。今後の見通しを聞きました。

「最初、私は今後の距離適性を含めて、まずは走るマイルくらいを試してみたが、お話をせりて頂きました。その際、グリーンバーへの河野社長から「園田では000メートル前後で結果が出てるのか」へ000メートルで走ったので、お話をありました。」崎

説明の中で、一九二一年七月の地方競馬で結果を出しましたから、もし馬が途中でレースを止められた時に、それでも競馬するような乗っ立夫をしてやれる地方出身の騎手が良いだらうじつに話になつて、それで、騎手には決まりました。

中央復帰戦は11番人気。しかし西田
師は確かに手応えを持つていたそうです。

「当初、中央で管理していた小崎憲調教師や園田時代の田中範雄調教師が」

現段階で師匠リーブライトの良さ

の自分に対する期待や応援をすりい感じでした。だからいい良い結果が出るよかったです。力が入りましたね。今回もリーブライドの中央初勝利を届けられてい、本当に良かったです。

（＊印：電話取材）
「でも食べるついで、心配がないのも限らず
この事。初勝利によりてわりに士気が上がり
がつた西田厩舎のむじで、今後どんな走
りを覗せていくのか楽しみですね。

(4月中旬..電話取材)

競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマホアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（主婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は世界競馬場の馬場取材を行っていろ。